

平成 24 年 7 月 26 日  
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

## 大人用紙おむつ

### 1. 依頼内容

「大人用紙おむつ着用中に擦り傷ができた。商品に問題がないか調べてほしい。」との依頼を受けました。

### 2. 調査

依頼センターが相談者から聞き取った情報では、相談者の母親がこの商品を 1 日着用したところ、臀部左脇の中央部（腰骨の下部分）が 4cm 四方の擦り傷になったとのことで、当日は家中でほとんど動かず、寝て過ごしたとのことでした。

この商品は、ひとりで歩行が可能な人を対象とした大人用の紙おむつで、傷ができた部位に対応すると思われるところは、おむつの前面部と後面部との接合部になっていました(写真 1)。接合部には規則的に生地が薄く半透明になっている箇所がみられ、その部分は硬く、熱融着されていると考えられました(写真 2)。また、キャザーや特に足の付け根に当たるゴムが通してある部分の接合部も強く縮んで硬くなっていましたが、これらは、着用したときに直接皮膚に触れないよう外側に出る構造になっていました。

写真 1 側面外観



写真 2 接合部



商品の接合部を中心に8cm幅で切り出したものを、皮膚に接触する面を厚さ1.5cmの粘土板に向けて置き、6.5cm四方に1kgのおもりを乗せて、1000mm/分の速度で接合部を4cm引っ張ったときに、粘土表面に変化が見られるかを確認したところ(図1)、粘土表面には硬い部分が直接当たっていないにもかかわらず、はっきりとえぐれたような溝ができました(写真3)。本テストの粘土上で認められた事象と実際の皮膚での場合の関連性は不明ですが、この商品を着用し、接合部に圧力がかかるよう横向きに寝て擦れるよう横に移動すると、接合部で皮膚が擦れ、痛く感じられたり、皮膚に傷などの物理的な影響を及ぼす可能性もあるのではないかと考えられました。

図1 粘土板を用いた試験方法

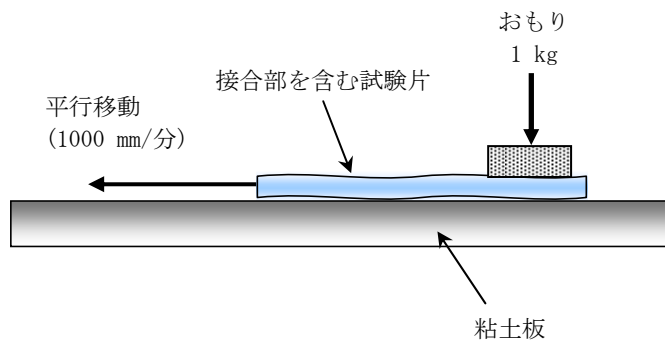
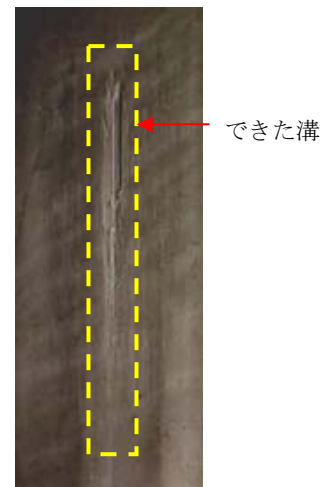


写真3 溝ができた粘土表面



しかし、相談者の母親がこの商品を着用して寝ていたときの状況に関する情報はなく、おむつの接合部の硬さだけで擦り傷に至ったとまでは判断できませんでしたが、おむつの接合部に関しては、軟らかいことが望ましいと考えられました。

### 3. 解決内容等

事業者は、今回の商品テスト以前から本体素材の変更、商品側部の圧着パターンの変更などを計画しており、今回のテスト結果も参考にしながら、全体としてソフトなタッチの商品へとリニューアルしたとのことでした。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165